

独自の取組の詳細

【 戸手小学校 】

(1) ～単元のストーリーの中に外部企業との連携を継続的に仕組む～

6年生総合的な学習の時間「未来につなぐ、戸手カルタプロジェクト」

①取組の過程

ア：昨年度（R3）の取組

本校では、今年度（R4）より新校舎での生活が始まった。昨年度は旧校舎で生活する最後の年。昨年度の最高学年6年生が「地域の未来に卒業生として“何か”を形として残したい」という思いや願いのもと、活動を展開した。在校生・卒業生・地域の方の思いをつなぎ、形として残すために「カルタ」を製作、販売するという企画を立てた。そのためにモノ作りをする地域企業と連携し、モノ作り・販売のノウハウを学ぶ。

昨年度から始めたプロジェクトであるが、コロナ禍のため、進行が困難なこともあったため、昨年度の6年生から今年度の6年生へとプロジェクトを受け継ぎ、継続して活動を行う。

イ：今年度（R4）の取組

<5月 プロフェッショナルから学ぶ>

- 昨年度から昨年度の6年生から引き継いだものを確認。
- 今年度の6年生も、会社経営者・モノ作りのプロフェッショナルから、仕事について・モノ作りの手順・モノ作りに込める思い等、仕事の本質を学ぶ。
- 商品販売に向けて計画を立てる。

<6月～10月 地域・学校・卒業生・企業と自分をつなぐ>

- 「カルタ」を製作・販売するために、会社を設立。
「読み札検討部」「絵札検討部」「かぶり防止部」「バランスチェック部」「何じゃこりゃ部」「説明書・箱デザイン部」「経理部」「宣伝部」各部署を立ち上げ、活動。
- 資金について経理部が中心となりPTAからの支援を受ける。
- 活動の際、随時企業の方にも参加していただき、アドバイスしてもらう「レベルアップタイム」を設定。

<11月～12月 試作品作り>

- 「私達が（地域の）未来に残すべきものは？」の本質的な問いに常に立ち戻り、学習活動の拡散・収束・修正を行う。
- 各部署で連携し、試作品を作成し、印刷会社と打ち合わせをしたり連携を図ったりする。

<1月～ 販売に向けて（予定）>

- 宣伝広報活動を行い、販売に向けて活動。

6年生「総合的な学習の時間」 レベルアップカード
(18)番 名前(小野安希)

＜テーマ＞
未来へつなぐ戸手カルタプロジェクト

レベルアップすること

③ プロジェクトを進めるために自分達ができることを考えよう。(チャレンジする力)
④ 活動を振り返って、改善案を考えよう。(チェンジする力)

レベル	レベルアップすること	達成日
レベル3	③ 自分達ができることを考え、行動することができた。 ④ 周りの人の意見を聞きながら、改善案を考えることができた。	
レベル2	③ 自分達ができることを考え、共通しをもつことができた。 ④ 改善案を考えることができた。	○
レベル1	③ 自分達ができることを考えることができた。 ④ 改善することを発想することができた。	

こんな力がついた！

今できていること	これからすること	ついで力
同意書の完成度 が100%中15%	同意書の完成 度が100%に	みんなの意見 を言い合い、自分 の意見と比べ、 なから言う力

感想
どのグループか？どのようなことをしているのか？分かった。次は相手に伝わるように言いた。

本時のめあてのルーブリックを児童と共有してから活動スタート！
振り返りは、KWLHチャートで。

<児童の振り返り>

今日、企業の方の話を聞いて、「仕事」とは、人の悩みや困っていることを改善をして人を幸せにすることなのだと思います。



<児童の振り返り>

商品を開発する中で大事なことは、コンセプトとデザインだということが分かり、もっとターゲットをしぼって、コンセプトを明確にしないといけないと思いました。



「企業の方に直接質問したり相談したりすることで、修正すべきこと、もっとしなければいけないことが見えてきた！」



(2) くら寿司出前授業「お寿司に学ぶSDGs」

①取組の過程

ア：10月

○SDGsに関しては、年間を通してのテーマとして学習しており、その中で「企業が取り組むSDGは？」という児童の問いから、くら寿司の出前授業へと展開したのが10月。

イ：11月

○事前学習

- ・本やインターネットで魚について調べよう。
名前、大きさ、えさ、種類、住む場所、その他
- ・SDGsについて知っていることは？

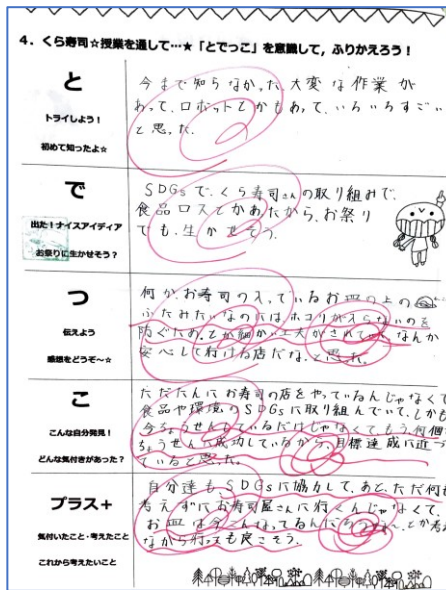
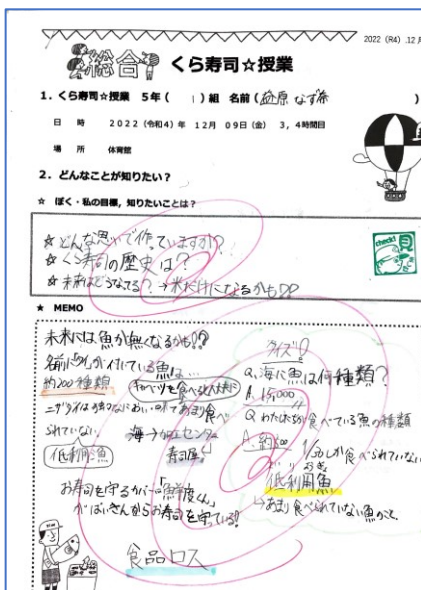
ウ：12月

○出前授業

- ・中国地方初の出前授業。低利用魚の活用方法等を知ることを通して、食べ物・海の恵みを無駄にしないこと等を学ぶ。

エ：今後

○^{両手ジース}OTDGs フェスティバルを活動のゴール（表現活動）に設定している。それに向け、環境と自分たちを結びつけて考え自分ごととして学びを深め他学年へと広げていく学習に継続して取り組む。



＜児童の振り返り＞
「低利用魚」という言葉を初めて知った。
お店は利益のことだけでなく、魚の命を無駄にしない・環境のことを考える・命をおいしくいただく等、様々なことを考えているのだなあと感じました。

いろいろな工夫をしながら
お客さんに商品を提供しているんだなあ。



この魚の名前、なんだろう…？
いつもよく食べる魚か、
低利用魚か・・・どっちだろう？



(3) 人生の先輩から学び、自分の生き方を見つける「県立高等学校生徒との交流」

①取組の過程

ア：11月

○自分の夢について、なりたい自分について考える。

○地元の県立高校の先輩に聞いてみたいことや対話してみたいことを考える。

イ：12月

○県立戸手高等学校に6年生が出向く。

・授業見学

・お互いの夢やなりたい自分について、また、今努力していること、今努力すべきことについて自由に対話する時間を確保する。

ウ：1月～

○高校生との交流を通して学んだことや気付いたこと等と、現在の自分とを重ねて考え、再度自分自身を見つめ直す時間を設定する。



高校生との座談会。話しやすい雰囲気の中だったので、自然にいろいろなことを聞くことができました。



「書道部」のみなさんの作品。思わずためいき・・・。
自分の「好きなこと」をとことん極める。素敵だなあと感じた。
なぜなら、人の心を動かすほどの力を感じたから。今自分が好きで続けていることを、もっと楽しもう、もっとやってみようと思った。

夢に向かって今何をがんばっていますか？
今私たちがしておくといふことって何ですか？



(4) 資質能力・アンケート結果の共有

①取組の過程

ア：8・9月 <今年度1回目のアンケート結果より>

○夏季休業中の研修で、各クラス・学年で、資質能力に関するアンケート結果を分析。その後新学期に、児童と共有する。昨年度の自分たちのアンケート結果と比較し、伸びている力・伸ばすべき力について各クラスで対話し、明確にする。また、そこから自分・クラスの目標を自分たちで設定し、取り組む。検討するアンケート結果はグラフで掲示し、(昨年度と今回の変化を表したグラフ)視覚的支援をする。

イ：各行事

○行事を通して、資質能力に係わる自己の振り返りをていねいに行う。

ウ：12月

○今年度2回目のアンケート実施。1回目と今回の結果を児童自身が対話しながら比較検討する。

また、学年末までに取り組むべき内容についても対話する。

